



miniature sweets campus | フルーツ

桃の作り方

〈原型〉造形パテでカットした桃の形を作る。

〈型どり&成形〉ブルーミックスで型をとり、樹脂粘土で抜く。

〈着色〉種のまわりから放射状にピンクを重ね、ジェルメディウムで仕上げる。

◎ 用意するもの

原型・型どり

造形パテ ペーaju・白 /1:1 プラ板 ブルーミックス /スケールEで計量
ゴム手袋 /肌の弱い方

粘土・絵の具

樹脂粘土 /スケールGで計量

● イエロー (パーマネントイエロー) ● プライマリーマゼンタ

道具

スケール・爪楊枝 歯ブラシ /やわらかいほう
目打ち・デザインナイフ・ピンセット 霧吹き (水)
ベビーオイル+綿棒 /型の離型用 割り箸+両面テープ /着色の台
筆・水・紙・OPPシート・綿棒 スポンジ /乾燥用

仕上げ

ジェルメディウム (またはツヤありニス) 桃の写真 /見ながら作る

PART 1 | 原型

1 造形パテを混ぜる

- 1 造形パテの**ペーajuと白を1:1**で少量ずつとり、混ぜ合わせる
目分量でOK。肌の弱い方はゴム手袋を。
- 2 **スケールC**くらいの量をとる
パテはスケールにくっつくので、残りの樹脂粘土でCを測って大きさを確認し、同じくらいの量をとります。

2 カットした桃の形を作る

作るのは、くし形にカットした桃。切り口のエッジ (稜線) をしっかり立てるのが桃らしさのポイントです。

- 1 パテがくっつかないよう、先に**手を少し濡らす**
- 2 親指と人差し指でVの字を作ってパテを挟み、もう片方の手の親指と人差し指で**エッジを立てる**
- 3 エッジが立ったらひっくり返してプラ板につけ、反対側のエッジも同じように立てる
ベタつくときは霧吹きで水を。指紋は最後に直すので気にしないでOK。



指でV字を作ってエッジを立てる

3 質感と種の筋を入れる

- 1 **歯ブラシ**でトントン叩いて、表面と側面にザラザラした質感をつける
桃はやわらかい質感なので、硬いブラシよりやわらかい歯ブラシが合います。
- 2 **目打ち**で、種を取ったあとに残る筋を表現する。引っかくように**トントン細かく**線を入れ、出た粘土は取り除く
- 3 種があった部分を軽く押して、**繊維がモサモサ出ている感じ**にする
- 4 全体の形を整え、**最後は必ず歯ブラシの質感で終える**
指で触ると質感が消えます。指紋が残っていないかも確認。



歯ブラシで質感

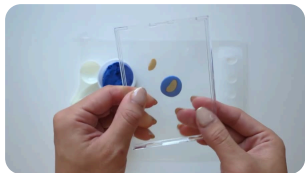


目打ちで種の筋

💡 **サイズ違いも作っておく**
大きさは好みでOK。Cより少し小さめ・薄めなど、サイズ違いで3つほど作ると便利です。小さくしたいときは、デザインナイフで切ってから成形し直しても大丈夫。硬化まで時間はたっぷりあるので、満足いく形までゆっくりと。

4 ブルーミックスで型をとる

- ① ブルーミックスを**スケールE**で計量する（原型1つにつき1セット）
混ぜるとすぐ硬化が始まるので、準備を整えてから混ぜます。手袋推奨。
- ② 色が均一になるまで手早く混ぜ、手のひらで転がして表面をなめらかにする
- ③ 原型に向かって押しつけ、裏から見て**空気が入っていないか**確認する
- ④ そのまま**30分ほど**置いて硬化させる



原型に押しつけて型どり

5 粘土を着色する

- ① 樹脂粘土を**スケールG**で計量する
- ② **黄色**だけで、**ほんの少し**着色する（白桃）
桃は透け感のあるフルーツなので白は入れません。黄色はつきやすいので少しずつ。乾くと濃くなります。黄桃など別の品種なら色を変えて。
- ③ ホコリが入っていないか確認し、あればピンセットで取る



ほんのり黄色（白桃）

6 型で成形する

- ① 綿棒で型に**ベビーオイル**を塗る
モールドオイルでもOK。取り出しにくくなったら、その都度塗り直します。
- ② 粘土を少量とり、型に**すり切り**で詰める
ぶっくり盛らず、すり切りで。慣れないうちは残りの粘土をラップしておきます。
- ③ 上から**歯ブラシ**でトントン叩いて質感をつける（指紋も消える）
- ④ 型を少ししならせて空気を入れ、取り出す
取りにくいときは、余った樹脂粘土を上から押しつけてくっつけて取る方法も。
- ⑤ スポンジの上で**一晩**乾かす



型から取り出したところ

7 種のまわりから放射状に着色する

白桃は、種のまわりがいちばん濃いピンクで、外側にいくほど白っぽくなります。繊維の筋も、線を細かく入れて表現します。

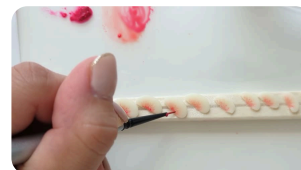
● プライマリーマゼンタ ● パーマネントイエロー

を少しずつ、水で薄めて

- ① 両面テープを貼った割り箸に桃を並べて貼るのりきらなければ2本用意。
- ② 1回目：マゼンタを水で薄く伸ばし、イエローを少し混ぜる。中心を少し塗り、**外側へ放射状に細い線**をたくさん描く見えるか見えないかくらいの薄さでOK。描きやすい向きを見つけて。
- ③ 2回目：水を気持ち少なめにして、**中心に近い部分だけ**に色を入れる
- ④ 3回目：黄色をあまり足さず、さらにピンクを足した色で、**種に近い先端だけ**ちょんちょんと濃く入れる
- ⑤ 側面：水たっぷりの薄い色で、**まだらに塗る**（切り口側にはみ出さない）
- ⑥ 裏返して、裏面も同じように塗る
だいたい3回に分けて着色すると良いです。



中心から放射状に



種のまわりを濃く

⚠ ピンクが強すぎると偽物っぽい

黄色も混ぜながら色味を調整します。側面がはみ出したら、水をつけた綿棒でこすれば取れるので焦らなくて大丈夫。

8 ジェルメディウムで仕上げる

ツヤありニスで仕上げてOK。桃のボコボコした繊維質を出したいときはジェルメディウムを使います。

- ① ジェルメディウムを綿棒で少量とり、OPPシートにのせる
- ② 綿棒の先につけて、桃の上に**トントン**のせる
きれいに塗るのではなく、あえてボコボコ感・綿棒の跡を残します。たっぷりのせても乾くと透明に。
- ③ 裏面も塗る場合は、**1時間ほど乾かしてから**



綿棒でトントン

♡ ジェルメディウムの上にニスは不要

白く見えても乾くと透明になり、ザラザラ・ボコボコした質感になります。

できたら、ぜひ作品を見せてね♡
miniature sweets campus | 桃の作り方